

はじめに

このたび、平成 24 年度の業務内容および調査研究の成果を、「福井県衛生環境研究センター年報（第 11 巻）」としてとりまとめました。

当センターは、本県の保健行政や環境行政を科学的・技術的に支える中核機関として、衛生・環境に係る「調査研究」、「試験・検査・測定」、「情報の収集・解析・提供」および「研修・指導・学習」の 4 つの役割を担い、地域に密着した業務を推進しています。平成 24 年 4 月には、組織の変更等に伴い、管理室と健康長寿推進室が統合され、また、福井健康福祉センターの検査室が当センターの保健衛生部に統合される等、試験検査業務の効率化が図られました。

感染症や環境汚染等の健康危機管理事象への対応については、新たに発生した鳥インフルエンザ（H7N9）、中東呼吸器症候群（MERS）および重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの感染症に対する検査体制を整備し、PM2.5 については、平成 25 年 3 月から新たに自動測定機を増やし、県内 6 地点で定点観測を実施、汚染状況をより細かく把握することが可能となりました。得られたデータは平成 24 年度に更新したテレメータシステム（第 6 世代）により収集し、当センターのホームページでリアルタイムに公表するとともに、高濃度時には広く県民に注意を呼びかけることとしています。

今後とも、県民の健康と生活環境を守るための試験および調査研究機関ならびに健康危機管理対応機関として、有する資源を最大限に活用し、また、関係機関と緊密な連携を図り、県民および行政のニーズに的確に応えていく所存です。

本年報の「Ⅱ 業務報告」では、部・室ごとに平成 24 年度の業務実績を掲載し、また、「Ⅲ 調査研究」および「Ⅳ 発表抄録」では、これまでに実施した調査研究の結果ならびに学会等での発表の抄録等を掲載しています。

成果の一部については、県の公設試験研究機関が合同で開催している「福井県公設試験研究機関フェア」でも紹介していますが、あらゆる機会を通じて、当センターの業務に対する認識と理解を深めていただけるよう「見える化」に努めてまいりますので、引き続き御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

平成 25 年 11 月

福井県衛生環境研究センター所長 上田 孝